

対話型AIの進化とこれから

対話型？
生成AI？

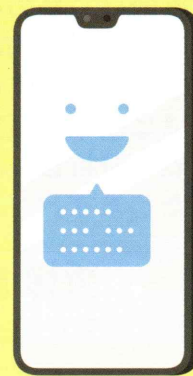
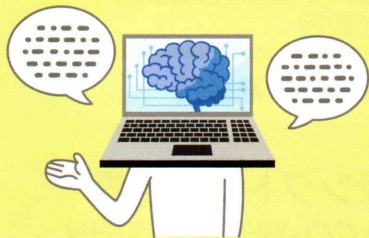
AI？

— 話ができるAIはどうやって賢くなったの？ —

入場無料
手話通訳あり

AI全体の歴史をふり返りながら、対話型AIがどのように生まれ、発展してきたのかを初心者にもわかりやすく解説します。

20世紀半ばの初期の研究から、機械学習、深層学習、そして生成AIへと至る流れをたどり、AIが大量のデータをもとに学習し、もっともらしい答えを生み出す仕組みをやさしく紹介します。あわせて、誤情報、偏り、著作権、個人情報、といった現在の問題点にも触れ、今後ますます身近になるAIとどう向き合うべきか、将来の課題も含めて考えます。



2026年

7月18日(土) 13:30~15:00 (開場 13:00)

稲城市地域振興プラザ
稲城市東長沼2112番地の1

定員 90名 事前申込制
6月16日(火)10時 受付開始



ウェブサイトまたは電話でお申し込みください

7月15日(水)以降は電話のみの受付となります

講師

電気通信大学教授 人工知能先端研究センター センター長 **南 泰浩**

慶應義塾大学院博士課程了。日本電信電話㈱主任研究員、マサチューセッツ工科大学客員研究員、大阪大学招聘教授を経て2014年から電気通信大学教授、2025年度まで副学長を務める。現在は、産学官連携センター副センター長、連携教育部部長を兼務。早稲田大学非常勤講師。人間のようコミュニケーションできるコンピュータの実現を目指して研究を行う。研究領域は、音声認識、対話処理、環境知能、幼児言語発達、認知症症状の予測など多岐にわたる。「ロボットは東大に入れるかプロジェクト」に参加、センター試験の英語で偏差値50突破に貢献。著書に「これからの強化学習」、「環境知能のすすめ」などがある。高校、大学、社会人でサッカーに興じる。現在の趣味はテニス。



お申し込み・お問合せはこちら

いなぎICカレッジ事務局
(稲城市教育委員会 生涯学習課)

TEL **042-370-2822**

〒206-0803 東京都稲城市向陽台4-6-18 城山体験学習館内

受付時間/火~金 10:00~16:00